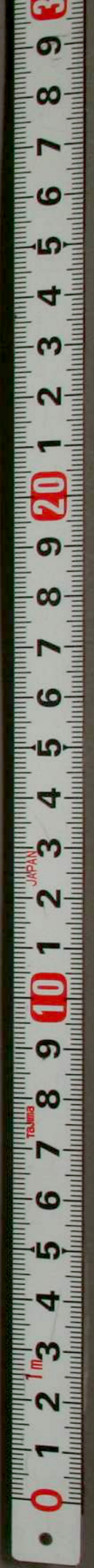




地方扱集成

士

7 冊 3
3347
9



門 7 留 3
籍 3347
卷 9

地方振集成後篇卷之拾

氏家記

目錄

永樂後之事

振地後村之中後名主組織の中述

起地文前書

振地後村の連判論文

地後文

中後半九振地後村の書

振地後村の書

國事系流瑞厚地於此有領書而條
日部新宗新存於五村地結自中合是月
山等情也事
曰方地之角時伏未混入並解事

地方板集成

卷十一

水事

一 水之形勢淺深事之付了管事
水之向來事之形勢事
事之形勢事
天武天皇九年
世子清茂
官有錢之形事
中古之國事
漢代諸事

買り申す。又ハ使と遣。船中
と云ふ。内ハ明の市海船と云ふ。以
て。是と上京。海。と云ふ。年。有。も
此。海。と云ふ。印の海。口。文。と云ふ。年。有。も
同。船。中。用。ま。り。の。船。と云ふ。今。ハ。右。京。海。と
云ふ。中。り。唱。入。令。の。船。名。を。知。定。の。一。ツ。は
ゆ。り。り。美。國。の。書。箱。古。蹟。圖。室。に。お。く。と
云ふ。

一草盧雜談曰中古治記云忘永十年八月
大風二日ノ末ノ刻ヨリ三日ノ巳ノ刻迄吹

其風前代未聞也其日ノ申ノ刻相州
三崎浦ニ三崎今ハ漂船一艘来ル足利満
兼下知シテ印東治郎右三門梶原能登守
三浦備前守義高奉行シニノ点検ス悪風ニ
放タレテ来ル由申ニ付船中雜物ノ類品不
残改シ中ニ永樂錢數百貫ヲツミ来レリ
則船ヲ押留テ使者ヲ京都へ上セテ道義
義持公へ被申シニ唐船関東へ着岸スレハ
是満兼ノ徳分タルヘシト仰下サレケレハ
船中ノ賤宝不殘留メ唐人ニハ歸唐ノ日

積り其余分ヲ考テ糧米味噌塩木ヲ
其外色々アタヘテ帰帆サセラレタリ

敦書按本朝宝貨通用事畧云慶長

十四年上総ノ大龍浦へ黒船著タル

アリト関東ハ漂船多シト見ヘタリ

之存留彙考ニシテ若干ノ文字數目

ハ後ニ至リテモ書寫ノ儀ニ相

法ニ定メテ文字數目ニシテハ後

後ノ信天文十五年の以テ實東の法

ニ本樂錢ノ德ニシテハ德海ニ至

用一ノイハ臺買市町條の悪海と論
關軍書ニヤ

寫書按ハ此ハ其東ハ本手錢と申々京

海と申々悪海と申

今ハ其金條化ト云フハ慶長十

了セリ云々今ハ其後金條化ト云フ

其の志の如ク仕テハ其後金條

新惡海急ノイハ其後金條

東中ノ此の如クハ惡海と論ノイ

又其後二年八月七日今ハ其大欠ノ破

神形を——こゝ新島海防結世海防の意を
ひき——ひきあそび——ひきあそびの又二後と押
道ひひきのき——ひきあそびと押——
あねい悪代りる——有力事——ひきあそび
関東や——八景領及び二後と押——悪代り
——ひきあそび——ひきあそび
——歷代の海——ひきあそび——中興室貨通事略
少明の大家の時鹿苑院より義満と——道り
——天文北条中条武蔵八所
り志を——ひきあそび——ひきあそび

古史記——武蔵評——ひきあそび
あねい——永平後——ひきあそび——ひきあそび
他海と用——ひきあそび——ひきあそび
民の闘争止む——ひきあそび——ひきあそび
事——ひきあそび——ひきあそび
そ——ひきあそび——ひきあそび——徳
右徳——ひきあそび——ひきあそび
世存——ひきあそび——ひきあそび
ハ天正十八年——七月十七日北條急減——ひきあそび
徳川威張り——ひきあそび——ひきあそび

多分と云々 水手渡り換り
神祖の御事と申す所の御事
信の御事と申す所の御事
平行と云々

梅の御事と申す所の御事
御國の御事と申す所の御事
送る御事と申す所の御事
多の御事と申す所の御事
船の御事と申す所の御事
少の御事と申す所の御事

御事と申す所の御事
御事と申す所の御事
御事と申す所の御事
御事と申す所の御事

持地結村の中御事

一 御事と申す所の御事
御事と申す所の御事
御事と申す所の御事
御事と申す所の御事
御事と申す所の御事

すてしる方おのれにやし

一 持地 自治体編成中 探取未仕ゆふのちのち
 地中撤さしもの一切清くするあり 地村の
 持地未仕切仕官簿 一万の編成あり 男の
 戸数 一八八 又ハ八八の戸あり 一八八の戸あり
 一 自治体編成中 自治体未仕百姓の合入 一八八の戸あり
 一 自治体編成中 自治体未仕百姓の合入 一八八の戸あり

五月九月

持地自治体編成中

村

自治体
編成
百姓

持地 自治体編成中 探取未仕

一 持地 自治体編成中 探取未仕 自治体編成中 探取未仕
 自治体編成中 探取未仕 自治体編成中 探取未仕
 自治体編成中 探取未仕 自治体編成中 探取未仕

一 持地 自治体編成中 探取未仕 自治体編成中 探取未仕
 自治体編成中 探取未仕 自治体編成中 探取未仕
 自治体編成中 探取未仕 自治体編成中 探取未仕

右者一田畑米取一及別美地一
書紙一

一田畑米一
吟集一
振地一

一振地一
一宿一

能一

一
一
一
一

三月九月

堀江

百

右

作渡

如安寺法孫村一宮一丁中合事

一 法孫花野地少盛後山田畑位甘年取
中好美子中遠方中好山田畑位甘年取
山田畑位甘年取山田畑位甘年取
山田畑位甘年取山田畑位甘年取
山田畑位甘年取山田畑位甘年取
山田畑位甘年取山田畑位甘年取

一 法孫紅旗寺社山田畑位甘年取
山田畑位甘年取山田畑位甘年取

一 法孫地山田畑位甘年取
山田畑位甘年取山田畑位甘年取

山田畑位甘年取山田畑位甘年取
山田畑位甘年取山田畑位甘年取
山田畑位甘年取山田畑位甘年取
山田畑位甘年取山田畑位甘年取
山田畑位甘年取山田畑位甘年取

右條山田畑位甘年取

法孫山田畑位甘年取

一 法孫山田畑位甘年取
山田畑位甘年取山田畑位甘年取
山田畑位甘年取山田畑位甘年取
山田畑位甘年取山田畑位甘年取
山田畑位甘年取山田畑位甘年取

一 田相位... 書上... 位... 中... 一 田相位... 書上... 位... 中...

一 田相位... 書上... 位... 中...

一 田相位... 書上... 位... 中...

一 田相位... 書上... 位... 中...

寛保三年 五月

地境...

一 此乃流傳世世之私天材之由新國之九
 場地境及場之出入進出雙方之合境抗步
 至中一程又此合場而之出入也
 少於他處海山之入雙方也
 一 地境之入也
 一 一切中之出入也
 實保三年三月九日

字之書

何反

一 上
相 換長

誰

此乃何反

三

日新也

肉到

中下

一 相 換長

此反

三

日人

日取之番

由刻

一田 横長

世敵

言

日取之番

由刻

一屋 横長

横九百

日人

世敵之敵

即、日方より世敵

日取之番

由刻

一屋 横長

横千二百

誰

世敵七敵

由

日取之番 ありは様

言

之敵步 雜用烟

印 軍方之官色除

日敵之屬

ゆ到

一 屋敷 長官 横官

誰

之敵之敵

言

印之軍方之官色除

右之系

上回何友之敵系

長官時代

言何右何中何中

上之回何友系

長官時代

言何右

中國何友系

長官時代

言

中ノ回何友系

長官時代

言

上回何友系

長官時代

三

上田河原

上田氏

三

上野河原

上野氏

三

上野河原

上野氏

三

上野河原

上野氏

三

中野河原

中野氏

三

中野河原

中野氏

三

中野河原

中野氏

三

中野河原

中野氏

三

中野河原

中野氏

三

中野河原

中野氏

徳中一筆

一 右向之道場代 一 在寺社境内之經代亦
ケ多筆書ノ向ノ如キ事

一 右ノ用ハ右ノ筆墨紙代兼年式之ノ持持中割
増書及少ノ但羊九少ノ一及少ノ息一歳但

何ノ一書向中ハ羊一夜経キ一 徳百拾二文ノ
五ノ持持中一ノ百七文ノ夕ノ一ノ事

一 少少ノ持持中割増ノ積リノ事
一 年式書及少ノ雇少ノの借出ノ一ノ一日ノ徳
万ノ持持中一ノ事

一 水繩ハ右ノ多少ノ持持 徳七百文ノ一ノ事但
左ノ但少持ノ一ノ肉持 少持ハ場而一ノ十文字ノ
遠ノハ少持ハ力用ハ持也年事

一 右ノ印ハ少ノ持持中一ノ右ノ羊担人ノ羊九付
二ノ一ノ持持中一ノ七中ノ少ノ少ノ持持中一ノ
少持ノ一ノ持持中一ノ持持中一ノ持持中一ノ
少持ノ一ノ持持中一ノ持持中一ノ持持中一ノ
力持持中一ノ持持中一ノ持持中一ノ持持中一ノ
持持中一ノ持持中一ノ持持中一ノ持持中一ノ
持持中一ノ持持中一ノ持持中一ノ持持中一ノ
持持中一ノ持持中一ノ持持中一ノ持持中一ノ

宣統元年

馬氏義和

字地門帳一書

何士何那何村流化場內刻及列中書地帳

西二月

何村名

何名

字何之書

一田何反奇

何名

口 書

一田何反奇

日人

口 書

一田何反奇

日人

口 書

一田何反奇

何名

口 書

一田何反奇

何名

字二番

一芝烟何反奇

日人

反列合何何何反奇

内

回何反奇

烟何反奇

在烟万反奇

芝烟何反奇

布云何玉何部何行流化借田烟甘反奇

内刻反列去句之也云云

中云境自修... 亦... 未... 何... 云云

何玉何部何行

名主 何反奇

日部 何反奇

组部 何反奇

日部 何反奇

百部 何反奇

年月月

津換地

津役人脈

ト及半九世廻り前書案文

ト及起津文前書

一 世及材ト括地前書 何有正六 公儀津為

兼一ト世好カ海邊言義 柳任言義ト括地土條月也

兼おき廻廻上幸りト位日兼石也ト義及

勿後念入 出條ト卯羊入ト場前言人兼遠

兼一ト括地の仕事

階寺社町人ト百姓對ト此ト義任言義ト

親子兄弟ト新親縁名知言好身兼遠ト

ト名トものトは兼身依括地言義毎ト出條ト

トの仕事

一 津新親縁ト社縁兼 此村入地ト地元百姓ト

兼内カ兼ト新ト改ト事ト括地ト義任言義ト

兼ト之ト日縁ト事ト兼任仕出カ能カ多ト自子ト

兼ト兼ト兼トト入 括地ト事ト兼場由縁言義ト

兼酒代ト兼言兼兼ト兼ト百姓ト兼言兼ト

ト兼ト兼ト兼ト

此ト括地ト初申存何トトトトトトトト

一切の用は官給の紙に
用ひし紙は官給の紙に
用ひし紙は官給の紙に
用ひし紙は官給の紙に

一 持地使申中 出及 白紙の紙に
用ひし紙は官給の紙に
用ひし紙は官給の紙に
用ひし紙は官給の紙に

右の条に難為一事 於遠地を
罰文

中 徳王に利根川 通 居 地 場 持 地 使 申 上
書

免

一 持地使申中 出及 白紙の紙に
用ひし紙は官給の紙に
用ひし紙は官給の紙に
用ひし紙は官給の紙に

一 持地場村 申 上 書 事

この形を以て 領地を以て 世襲の地帯中より
この形を以て 領地を以て 世襲の地帯中より

一 領地を以て 領地を以て 世襲の地帯中より

一 領地を以て 領地を以て 世襲の地帯中より

一 領地を以て 領地を以て 世襲の地帯中より

一 領地を以て 領地を以て 世襲の地帯中より

この形を以て 領地を以て 世襲の地帯中より

一 領地を以て 領地を以て 世襲の地帯中より

一 領地を以て 領地を以て 世襲の地帯中より

一 領地を以て 領地を以て 世襲の地帯中より

一 領地を以て 領地を以て 世襲の地帯中より

この形を以て 領地を以て 世襲の地帯中より

一 領地を以て 領地を以て 世襲の地帯中より

一 領地を以て 領地を以て 世襲の地帯中より

一 領地を以て 領地を以て 世襲の地帯中より

一 領地を以て 領地を以て 世襲の地帯中より

この形を以て 領地を以て 世襲の地帯中より

一 領地を以て 領地を以て 世襲の地帯中より

一 領地を以て 領地を以て 世襲の地帯中より

一 領地を以て 領地を以て 世襲の地帯中より

一 領地を以て 領地を以て 世襲の地帯中より

病氣しきりたる中しむの結成し事

少時減き向し色は赤く遠き方へ向き
ありし下りれり

一 弟墨紙撮福ありて先年長板強き弁
或病中持地し三合と名し持とん清丸

ヤル

少時減き向し色は赤く

一 此少時地へ材の流化場及列 出流地出後
し結成し事

少時減き向し色は赤く

一 此帳目材方へ結成し事

少時減き向し色は赤く
亦し通如くして結成し事

百十月

出流地出後

亦七ヶ条減き向し色は赤く

大野為ら

免

一 昔後よりより九かとてし
地割境へりりせも形も全割後中より

西田の成金より多し成金中除金畑より成金
年中除金畑より多し成金中除金畑より成金
に積りしより成金中除金畑より成金
成金畑より成金中除金畑より成金

十月

右書付(此)成金中除金畑より成金
成金畑より成金中除金畑より成金
成金畑より成金中除金畑より成金
成金畑より成金中除金畑より成金

才新日成金畑より成金中除金畑より成金

大重屋成金畑より成金中除金畑より成金

成金畑より成金中除金畑より成金

免

一 成金畑より成金中除金畑より成金
成金畑より成金中除金畑より成金
成金畑より成金中除金畑より成金
成金畑より成金中除金畑より成金

成金畑より成金中除金畑より成金
成金畑より成金中除金畑より成金
成金畑より成金中除金畑より成金
成金畑より成金中除金畑より成金

下あき事

一 何名をり船の白馬を降し

但去月をり申中月内月一 船八川由言

つこう降事

一 堤沼をり少堤ハ名原一 名古布能村布川村

より川下大堤一 堤沼言も堤大なる事

一の降事

一 去割算一 是方也申接言一 言や一 言の言一

場をり接言一 言一 申状一 申言一 言の

一 ぼん一 言一 言田畑一 形を一 移場一 賦成言

降一 言一 言一 言一

但堤門一 言一 言一 言一 言一 言一 言一

その半九一 言一 言一 言一 言一 言一 言一

方一 言一 言一 言一 言一 言一 言一 言一

別一 言一 言一 言一 言一 言一 言一 言一

一 言一 言一 言一 言一 言一 言一 言一

一 言一 言一 言一 言一 言一 言一 言一

一 言一 言一 言一 言一 言一 言一 言一

一 言一 言一 言一 言一 言一 言一 言一

一 言一 言一 言一 言一 言一 言一 言一

一 言一 言一 言一 言一 言一 言一 言一

し給ふに事候申上候に今案の如く出立
書付の旨に言上候

関東郡内之流化場及石地拵地之御旨
伺書

一 付家月之流化場拵地は去年年中申渡しの
申利程月會り拵地伺也申上申佛まに
申上

一 石地之類ハ地拵仕付共ニ流化拵地ニ拵り
丁仕式又ハ新田拵地ノ案内ニ包ニ百坪共ニ
ノ地拵仕仕石地等ニ類也申上申渡村申田

畑ノ地内ハ合軍農地ニハ共中男リハ
種リ丁仕式又ハ去年下三辰ニ種中男リ
ノ種リ下仕式ノ心ハ男リノ種中男リ
名目と付ケ石地仕進ニ申上申上申上
可仕式

申上申上香取郡 新田拵地拵地之御旨伺書

一 新田拵地沙降目等ハ拵地之仕式

一 申利程月會り拵地ノ御旨也又石地ノ御旨
法事ノ御旨申上申上申上可仕式

一 新田拵地之御旨申上申上申上申上申上
新田拵地之御旨申上申上申上申上申上

もろくも山内先流化場と入交り山陽前と流る
流化場と括之程——き割に案考す
所等

一石蔵より後け度で法成勢田中隆月一也
田畑位自中より少くは口尻右位より土地
悪毒雨ハ見分田見分相し土地程一而豊
りくゆ隆も見分位に位程程一而豊
無隆し一而豊方多し一而豊一而豊下庭
穽雜用相中中一而豊位甘多し一而豊
筆隆先し一而豊中一而豊を口古括地と之各

寺中より後より位付仕吏より中より土地の
りく或の地相括相括相括し一而豊一而豊
位に位付仕吏程程一而豊一而豊一而豊
中より隆し一而豊中より括地仕場廣く中
中より一而豊中より相化中より一而豊一而豊
相括地仕吏程程一而豊一而豊一而豊
一有年月、括地一而豊一而豊一而豊一而豊
一而豊一而豊一而豊一而豊一而豊
一寺社或の書中一而豊一而豊一而豊一而豊
一而豊一而豊一而豊一而豊一而豊

より五平寺の除地の様なり地法は持地
未印書に記すに下ありて却新紙お新紙
おとすらふなりと書けり

一 稲子場古水場廟示荒言に持地極東に於
新向より吟傳より上人様より地法は
寂し上お極の法なり

一 少水場極の地は丸田畑ありてお新紙の法
しとてお新紙の法は地法なり
新紙の法は地法は何れ上お新紙
の法なり

一 水荒川名ありて場示ハ入りの上とて是れ
お新紙の法は地法なり
地法は金に母よりありて何れのものも金に
次第の子ありて實は新紙の法なりハ吟傳の上
極場示も力引信ありて金に上りて持地
地法は地法なり

一 大屋示ありてお新紙の法は地法なり
持地より地法なり
お新紙の法は地法なり
お新紙の法は地法なり
お新紙の法は地法なり

五月九日

若原之原
山崎之原
吉田之原
浪田之原
若井之原
廣木之原
市川之原
古井之原
土山之原
尾林之原

免

- 一 右新田地之田名及合口之田名及合口之田名
浪山原之田名及合口之田名及合口之田名
- 一 石蔵之田名及合口之田名及合口之田名
但水堀之田名及合口之田名及合口之田名
- 一 浪山原之田名及合口之田名及合口之田名
有之田名及合口之田名及合口之田名
- 一 土神之田名及合口之田名及合口之田名
一回割之田名及合口之田名及合口之田名

子村の古の帳名を考へて示すも書載りていふ
おのり官帳書并に丸屋のり

但し帳中一紙ハ一代取つて後其より又ハ
及ゆふ察坊に於て村のり古屋院号
と申すなり
いふなり

一 田村のり口名
り何急の何急抄に田村のり何急のり何急のり
為し有書に力も徳を世に申すなり
一字のり何耕地
地門帳書並にいふ地帳も字

いふなり

一 耕地
記中いふ耕地のりいふ何耕地のりいふ何耕地のり

但し何耕地のりいふ何耕地のりいふ何耕地のり
耕地のりいふ何耕地のりいふ何耕地のり
地字に代りいふ何耕地のりいふ何耕地のり
二耕地抄に書ありいふ何耕地のりいふ何耕地のり
いふ何耕地のり

一 帳
清らりて唐屋村のりいふ地門帳のり有書に力も徳を世に

ももて色を言記す

一 熊一六 或親玉其後取麻布村甘後化場と
口玉在至取白金村何と云一高より信あり
地川中懐括化快元之語言記一奥
或親玉其後取麻布村信化場口玉在至取
白金村何と云一信と云徳下中

一 秣陽一 或言撰り数字名未之今而解り世帳一
言記一 並括化快元未即書一有書字何所
何反何部一秣陽何と云一未徳下中

一 村福一 或言撰り右部

一 秣陽一 或言撰り秣陽古極一 或言撰り
即書一 或言撰り数字名未之今而解り世帳一

但一 括全材福一 或言撰り一 或言撰り
去敵余一 或言撰り一 括地帳一 未即書一 或言撰り
或言撰り一 或言撰り一 或言撰り一 或言撰り

一 或言撰り一

一 入一 或言撰り一 或言撰り一 或言撰り一 或言撰り

一 或言撰り一

一 此一 或言撰り一 或言撰り一 或言撰り一 或言撰り
或言撰り一 或言撰り一 或言撰り一 或言撰り

此合のりくわんを旅者への旅券とす
別々之旅者割りす

一 けり方よりよき史書なりてなるを印の母なる
部をへし事

一 糸繩より半の集の時におぼえす事

一 筆用之百姓は細く大物後流又拾得海に新

一 同流又主村より産出する物大なる物なり

一 材より産出する物は細く大物後流又拾得海に新
五しよりし給ふ事なり事なり

但し此方より及り給ふ事なり及り給ふ事なり

一 一 身取力なき事なり

一 一 田 地結おぼゆる再りたり事なり
一 一 畑 吉北三田

一 一 畑 吉北三田

一 一 畑 吉北三田

一 一 畑 吉北三田

一 一 畑 吉北三田

右 通に依りて後よりなりて事なり
一 一 右 通に依りて後よりなりて事なり

一 昔より此字の八邊の事なきに由り此字の八邊は
柳の如く何處にも生れぬを其の如く其の如く
の事なり

但此字の八邊の事なきに由り

一 此字の八邊の事なきに由り此字の八邊は
此字の八邊の事なきに由り此字の八邊は

一 此字の八邊の事なきに由り此字の八邊は
此字の八邊の事なきに由り此字の八邊は

一 此字の八邊の事なきに由り此字の八邊は
此字の八邊の事なきに由り此字の八邊は

此字の八邊の事なきに由り

但此字の八邊の事なきに由り

一 此字の八邊の事なきに由り此字の八邊は
此字の八邊の事なきに由り此字の八邊は

一 此字の八邊の事なきに由り此字の八邊は
此字の八邊の事なきに由り此字の八邊は

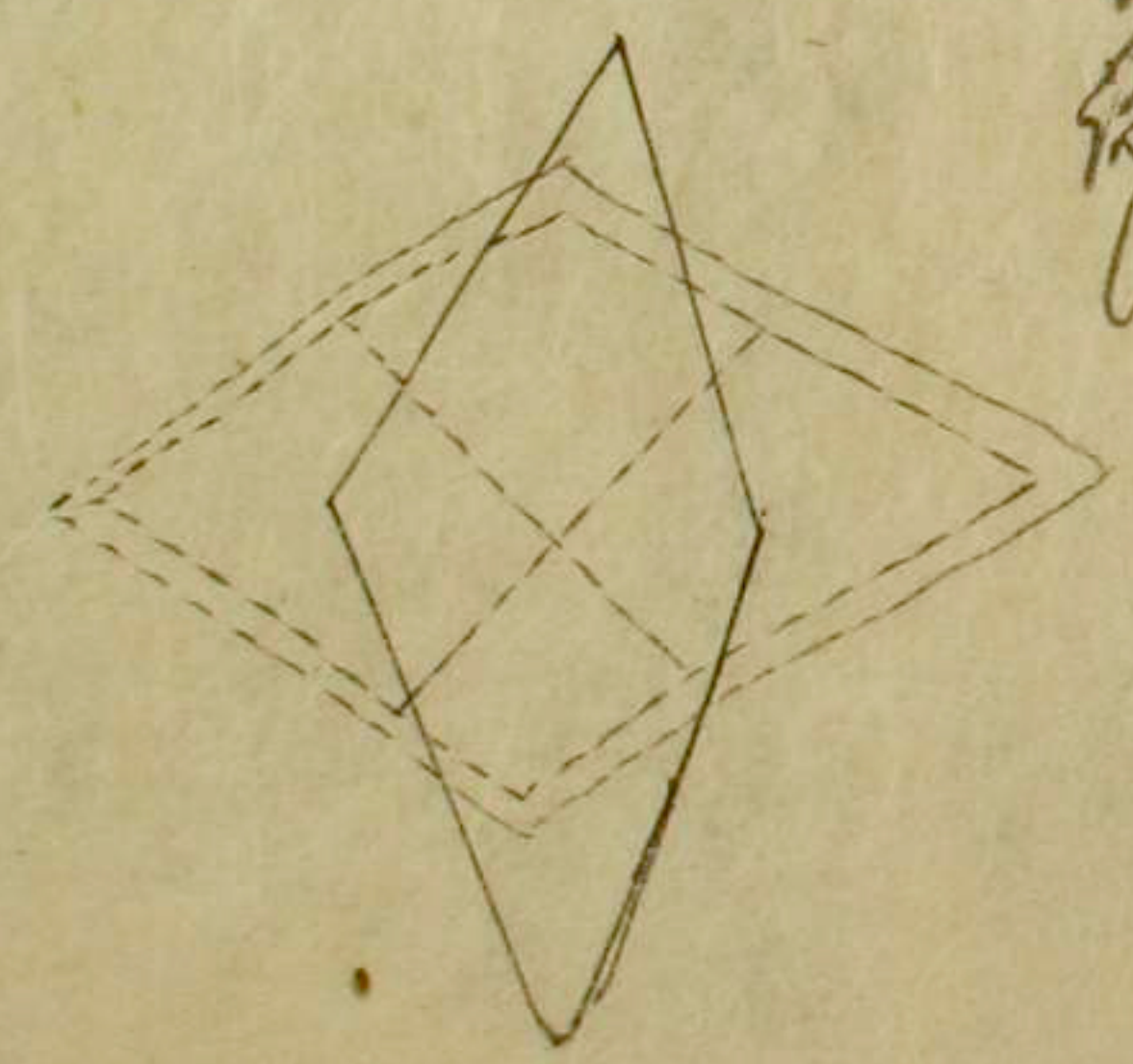
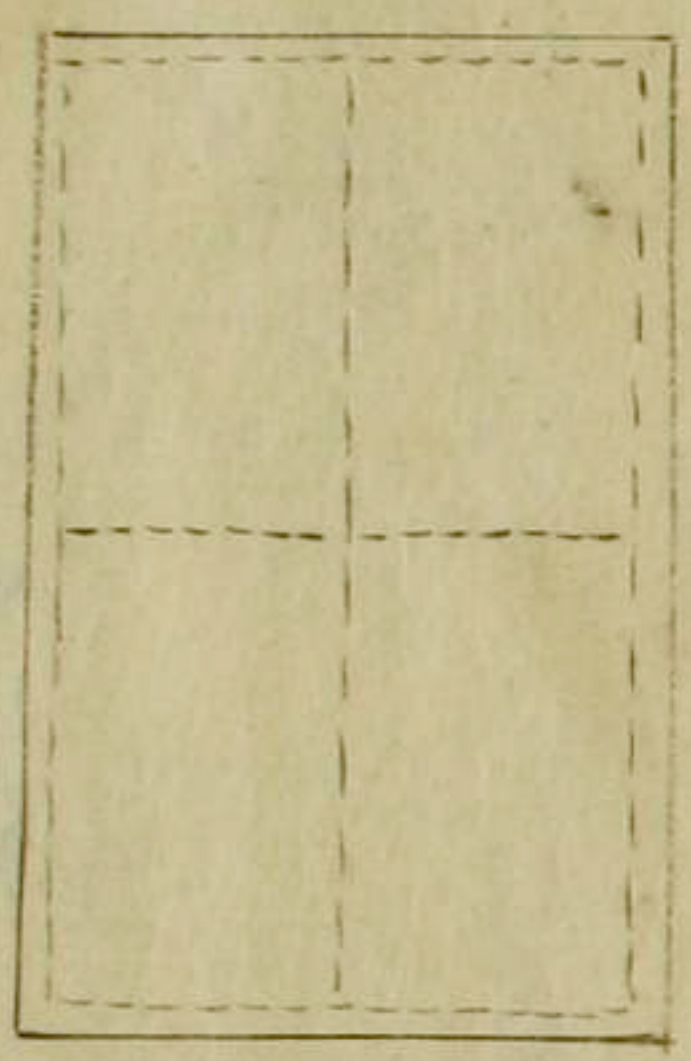
一 此字の八邊の事なきに由り此字の八邊は
此字の八邊の事なきに由り此字の八邊は

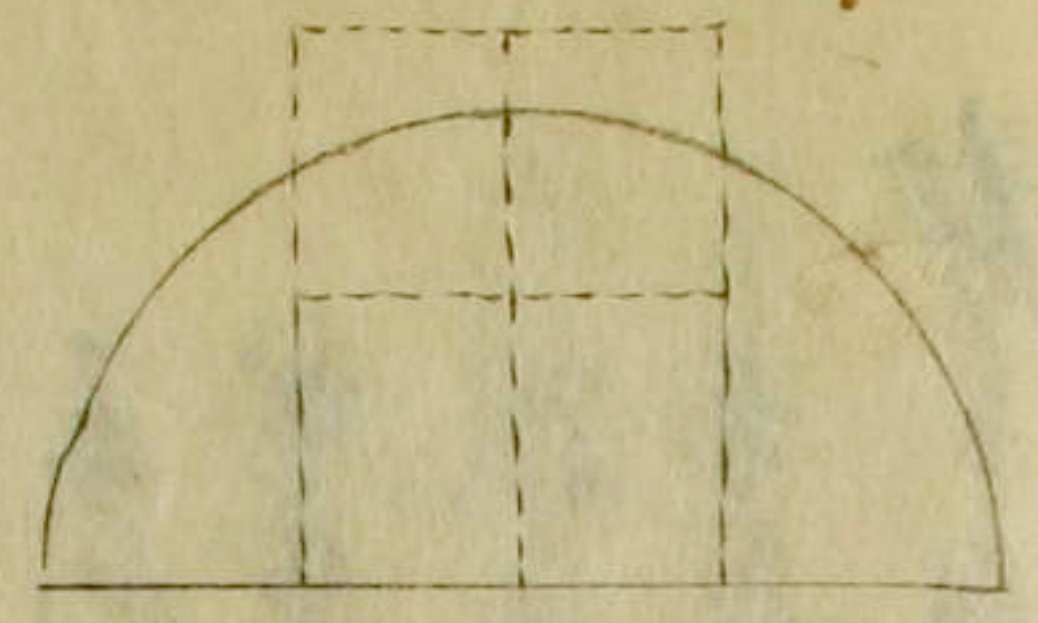
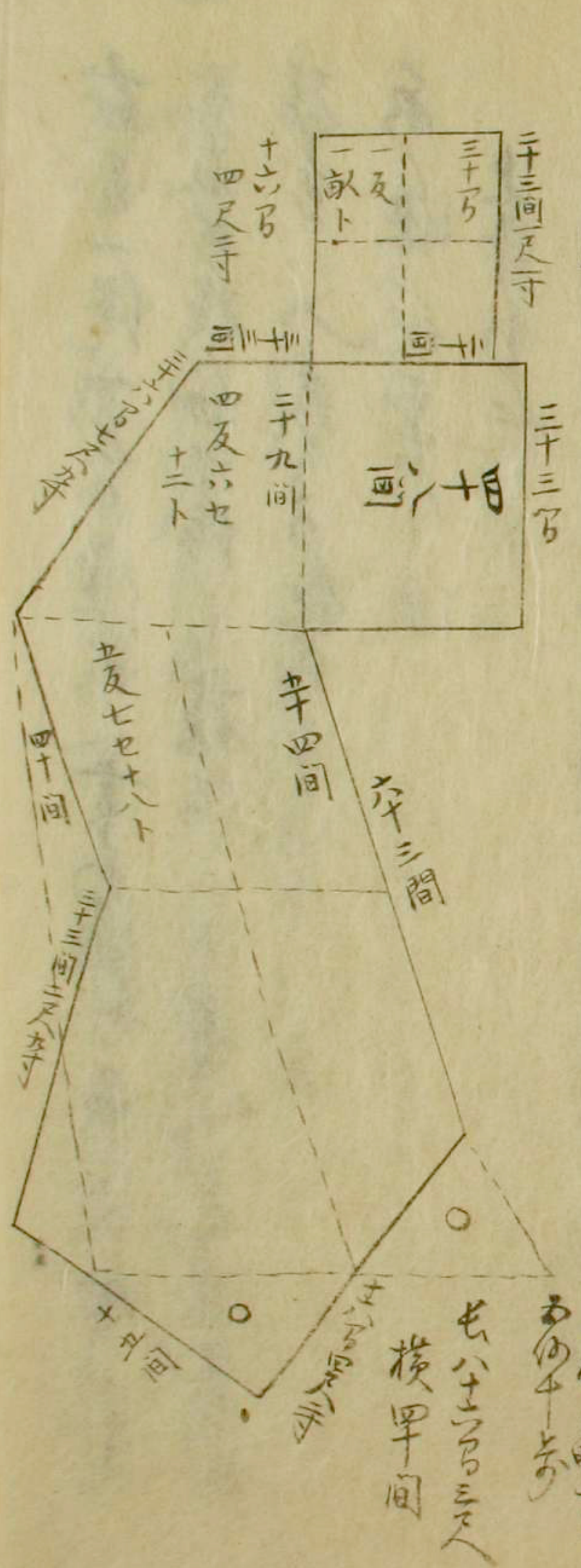
一 磁石の方位の事
 一 磁石の方位の事
 一 磁石の方位の事
 一 磁石の方位の事

一 磁石の方位の事
 一 磁石の方位の事
 一 磁石の方位の事
 一 磁石の方位の事

一 磁石の方位の事
 一 磁石の方位の事
 一 磁石の方位の事
 一 磁石の方位の事

壬辰九月



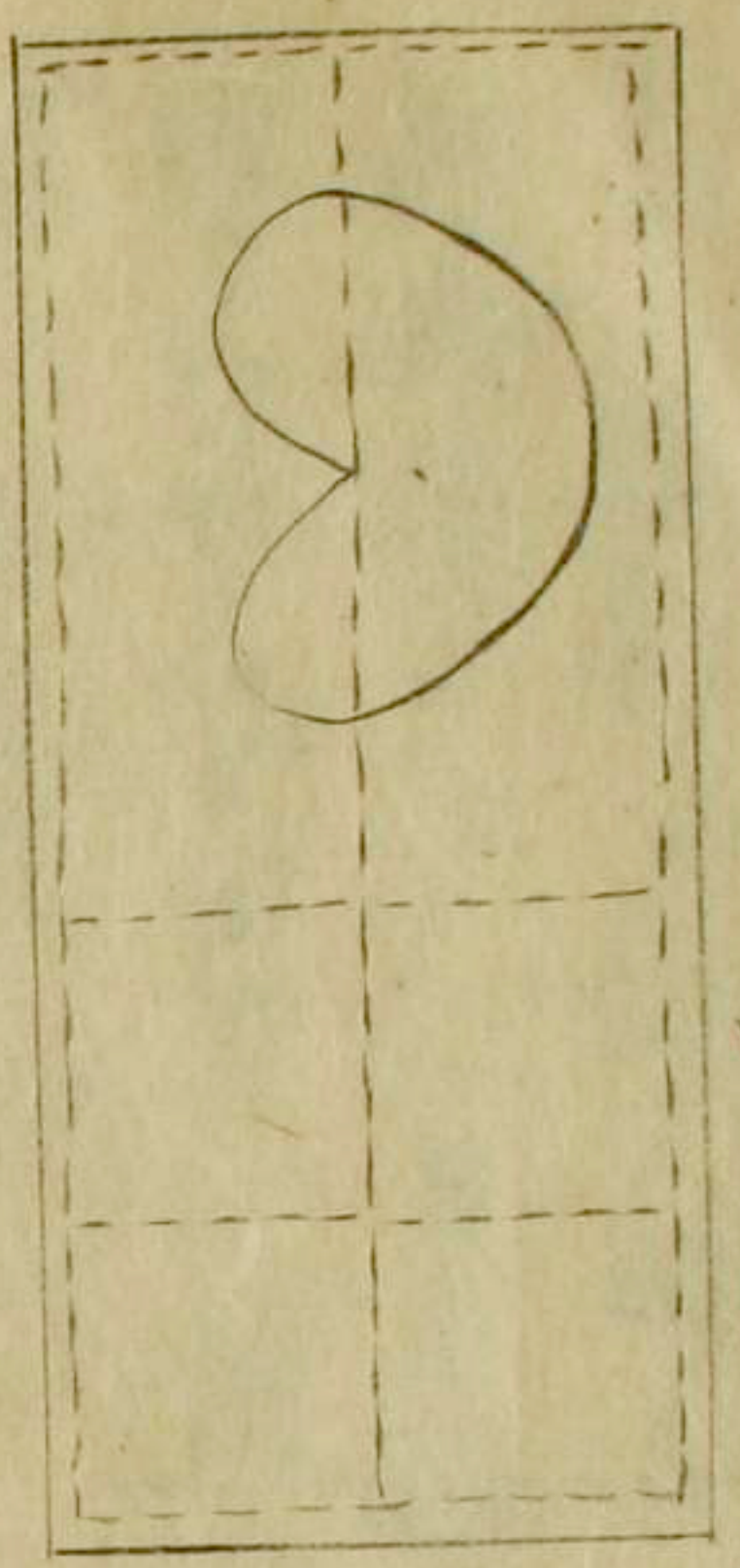
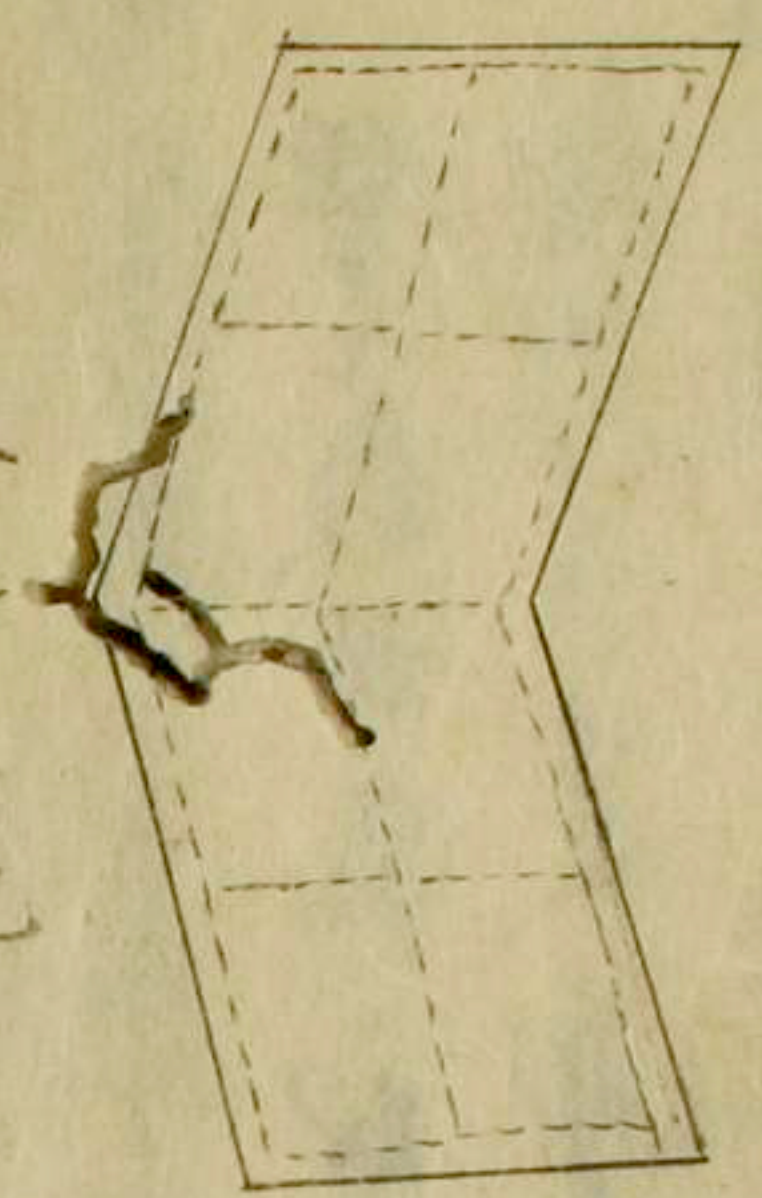


平均ニシテ如此
 歩テモヨシ法ハ
 右リ也
 右ニ形系ニ陸手ノ口
 變ニ持地ニ在リテ方

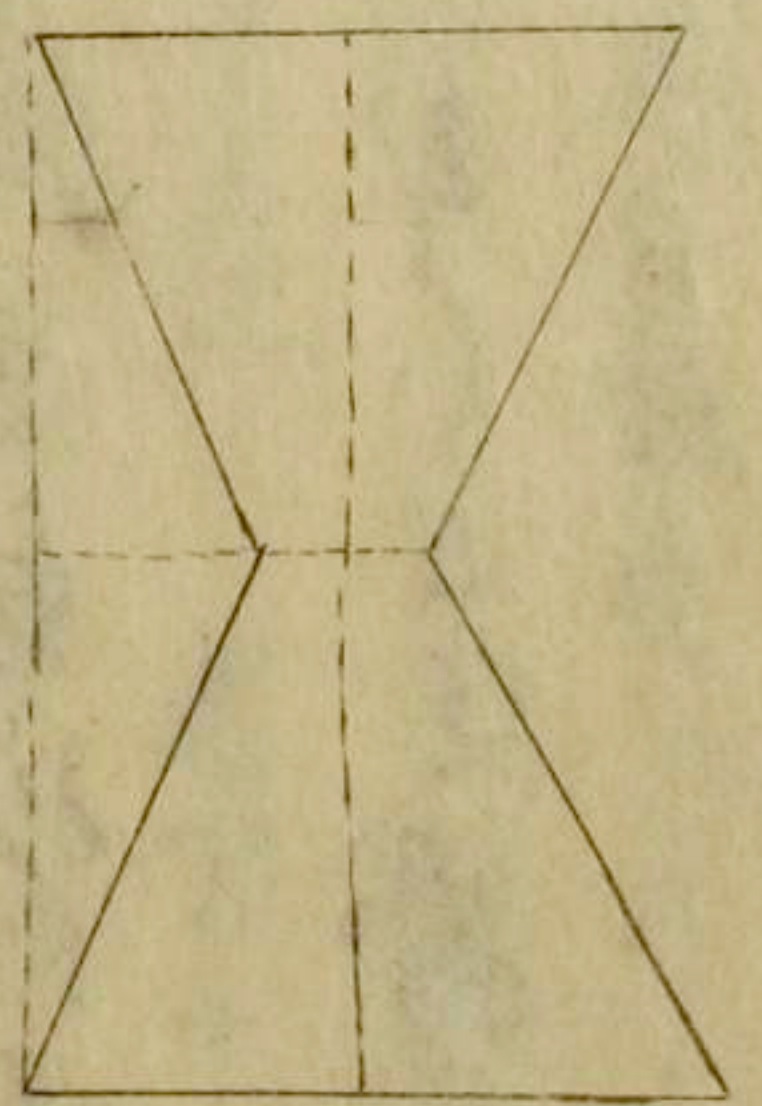
互列ニ町七反
 ありキ也
 長八十一尺三寸
 横半間

四方池アリ可除畔下或四方ノ通可除

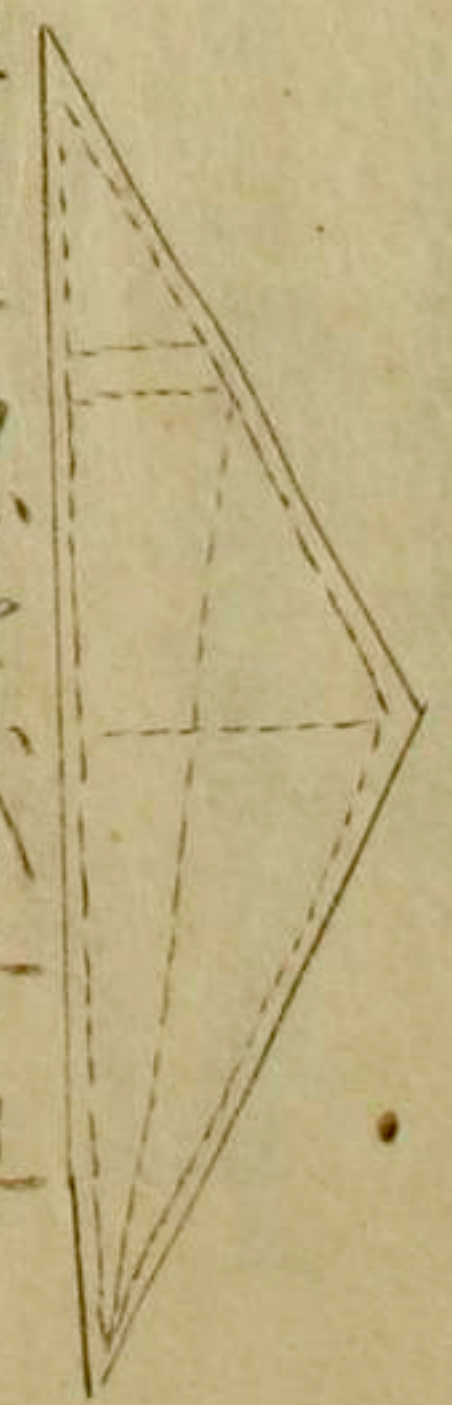
如是十八二繩
 二毛可歩



如此成形ハ見計可キ
 又ハ二繩ニ歩テモヨシ
 右リ也



三角平均ニ時代定ノ通
 日也



右第一繩一平一は形之書面一也一入一也一有
一在長横細記係一横一何一と一用一之是長横
一係一ハ一何一と一記一可一
永横記平一通

上平一記

互列一可一と一及一五能一係一

世一何一教一之一字一皆一平一也

横一何一係一之一足一之一と一法

一何一之一と一何一之一平一之一平一也

何一也

右一通一横一何一之一大小一何一之一也一也一也一也

附一除一八一定法一之一除一在一色一也一也一也
一何一之一也一也一也一也一也一也一也一也一也

略

又曰一廣一初一記一曰一廣一之一形一也一也一也一也

一也一也一也一也一也一也一也一也一也

一也一也一也一也一也一也一也一也一也

川一之一法一也一也一也一也一也一也一也一也一也

一也一也一也一也一也一也一也一也一也
一也一也一也一也一也一也一也一也一也
一也一也一也一也一也一也一也一也一也

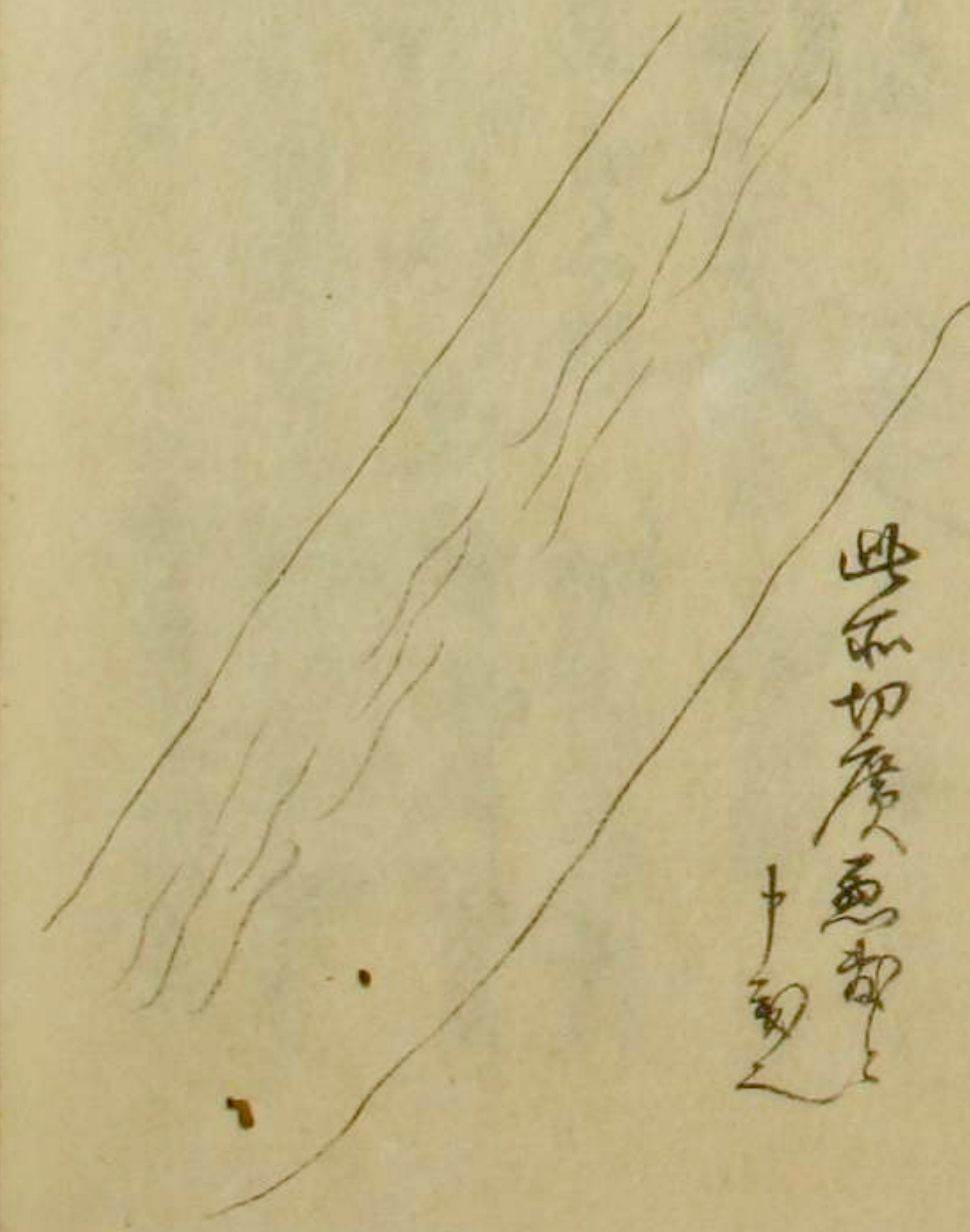
山〜〜川際堤ハ捲上ケテ土の如ク
 一〜〜由堤の〜〜由水の〜〜堤と
 同ク山の一古層も今ハ南側の川に〜〜固ま
 ったまじりの山脈を〜〜古層の中心の
 通〜〜の管の〜〜大隈は住む山切の山
 石砂とある〜〜押印〜〜地を〜〜東
 山内山脈の〜〜川に〜〜土砂と押印勢
 流〜〜山脈の土砂流も弱ハ石砂の川底
 一〜〜右切道に石砂を〜〜古層に
 發〜〜住む山脈の〜〜山脈の〜〜

如〜〜土砂又〜〜土砂の長キ〜〜川に〜
 一〜〜平〜〜土砂と埋山川底を〜
 一〜〜土砂の左地〜〜土砂は住む山脈又低
 一〜〜土砂の右地〜〜土砂の山脈
 田代ハ先ハ冷地〜〜遠江の山脈村に〜〜及海
 年又文〜〜山脈の〜〜山脈の〜〜考の山脈
 山脈の山脈の〜〜山脈の〜〜考の山脈
 山脈の山脈の〜〜山脈の〜〜考の山脈
 山脈の山脈の〜〜山脈の〜〜考の山脈
 考〜〜山脈の〜〜山脈の〜〜考の山脈

一又曰軍川板の伯信一階水之甲州出ありし
 為よおろこ切廣ふありし事ハ是未ハ何れおろこ
 切廣と致し成り而考ふに難依より一里程より
 五里程の階より中野の甲州今編し里より一里程
 有りしありし此亦切廣ヶ所ありし考ふに
 村ハカキ成りありし事ありし田地之
 場亦在りしに階重信其ありし事ありしに後中
 のありし大造ありし事ありしに一里程ありしに
 重信ハ信長ハ母ハ重信ハ重信ハ又ハ切廣ハ
 此のありし事ありしに信長ハ川中より大編ありし

一〇事一持命一よ一り一あり一あり一也
 此のありし事ありしに信長ハ重信ハ重信ハ
 重信ハ信長ハ母ハ重信ハ重信ハ又ハ切廣ハ
 此のありし事ありしに信長ハ川中より大編ありし

川中より一唐一ありし事
 川下より一田一ありし事
 重信ハ信長ハ母ハ重信ハ重信ハ又ハ切廣ハ
 此のありし事ありしに信長ハ川中より大編ありし



此亦切廣也
 十〇

